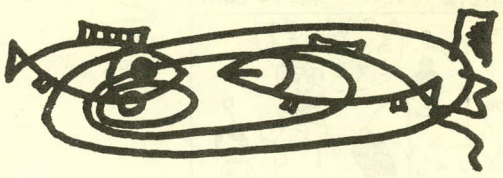
昭和45年6月15日　才186号　（毎月15日発行）

広報あさう

発行所　麻生町1561—9　電話(代)420番　麻生町役場
発行人　小沼幸蔵
印刷所　麻生印刷

5月末日人口

男	女	計	世帯数
8,665人	9,109人	17,774人	3,794戸



6月のメモ

1日　社会教育委員、公民館審議委員会議
〃　軽自税、国保税第一期徴収
1～5日　日本脳炎予防注射
2日　農産物改良協役員会
4日　森林組合総会
8～9日　戦没者遺族靖国神社参拝
8～12日　破傷風予防注射
17日　米生産調整協議会
19日　議会
23～30日　ガン集団検診
29～30日　敬老会

第三回臨時議会をひらく

監査委員に 箕輪義雄さん（再）

麻生町議会第三回臨時会が五月二十三日おこなわれました。議会は、午前十時十五分に開会、はじめに町長より、高崎正之介さんとの間でおこなわれていた町有地境の問題は、昭和四十五年二月十日の判決で麻生町の主張が認められたのですが、高崎さんはこれを不服とし、東京高裁に控訴、またこの事件の損害賠償として二千五百七十六万一千円を町で払うよう水戸地方裁判所へ訴訟したので、町としては十二分に研究してこれに対処すると報告されました。

このあと報告二件、議案四件が提出され原案どおり議決されました。

任期満了となつた箕輪義雄監査委員については、再任が同意されました。

提出議案の議決終了後、今宿沿岸地先における砂利採取の問題がとりあげられました。

このことは、四月二十二日桜川村を視察した結果（四月号に掲載）と砂利採取の許可をおこなう建設省の見解などから現状においては、同意しないことになりました。

議決された主なものは、次のとおりです。

○報告第二号　昭和四十四年度麻生町一般会計補正予算の専決処分について
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ三百二十二万九千円を追加し、歳入歳出それぞれ四億八千三百三十五万六千円とする。
○報告第三号　昭和四十四年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算の専決処分について
事業勘定歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四百六万円を増額し歳入歳出予算の総額をそれぞれ一億三千八百十八万三千円とする。
○議案第二十六号　麻生町税条例の一部を改正する条例
○議案第二十七号　麻生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
○議案第二十八号　麻生町営住宅管理条例の全部を改正する条例

町営住宅の入居資格

(1)町内に住所または、勤務場所を有するもの
(2)現に同居または、同居しようとする親族があること
(3)収入が二万四千円以上で、四万円以下であること
(4)現に住宅に困つていること
(5)県税および市町村税を滞納していないもの

協力と創造する人づくり

町の社会教育方針きまる

麻生町社会教育委員、公民館運営審議委員合同会議が六月一日、麻生町役場会議室でおこなわれ、昭和四十五年度麻生町の社会教育運営方針がきめられました。

その中では「新しい町づくりに協力して創造する人間づくり」を柱にして、鹿島開発などにともなつて著しく変化してゆく社会環境に即応した社会教育をはかっていきます。

このために、住民の意識を啓発し、社会教育の活発化をはかり、学級、学習活動実践活動を自主的に盛りあげるよう、その育成指導に力をいれます。

また、社会変ぼうを適確にとらえ対応していくためには、社会教育団体や機関が自主的な運営をはかり、緊密な連絡提携を保ち、その調整をはかり、一般行政とも連絡をとりながら、総合的な社会教育をめざしています。

よく聞き、よく話そう
良いことは実践しよう
思いやりの心をもとう

開発の波がどんどん押しよせ、人びとはせわしく働き、健康と、となりの人をふりむくチョツとした思いやりがうしなわれがちな今日、ひとりひとりが麻生町をみきわめる積極的な姿勢と学習会や、スポーツの集いへの参加をお願いします。

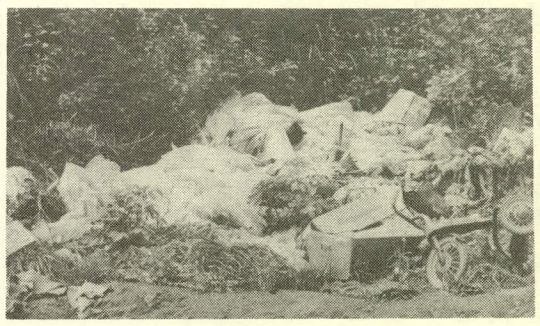
チョットの注意で きれいな町に

「開発と公害」がよく問題にされますが、家庭からすてられるゴミもチリも積もれば山で、少しすて場をまちがうとしらずしらずのうちに公害の原因になつています。

日本のベニス霞ケ浦、北浦も川の口は、ビニール袋などがうきしづみしています。小さな川にすてた小さなゴミが一ケ所に集つて水を汚ごし大腸菌の養育場になつてしまうのです。水は人間にとつて大事なものみんなで気をつけましょう。

山のすそや、ちよつとした空地にもよくゴミの山がみられます。ハエや蚊の発生原因ばかりでなく、自分のゴミで他人の土地を汚ごすことはいけないことです。

紙、ポリ、ビニール袋などは少ないうちに庭のすみで燃しましょう。



麻生保育園上の山

農薬など不用になつた薬品の処理は特に気をつけてください。

ゴミは、きめられた所「新原(雨堤)のゴミすて場」にすてましょう。

印鑑証明の交付申請は本人で

印鑑証明書の交付申請は、必ず本人がしてください。

病気などにより代理人で申請される場合には、委任状が必要です。

委任状には、麻生町に印鑑届のしてある人の保証が必要です。

住所の転出・転入や転居をしたときは、十四日以内に届出をしてください。

十四日をすぎてから届出をした場合には、裁判所へ通報することになつています。

11月に町民運動会

体育協会総会をひらく

麻生町体育協会総会が五月二十一日、役場会議室でおこなわれました。

四十五年度予算は、三十四万円組まれ、新事業として町民運動会とスキー教室が計画されています。

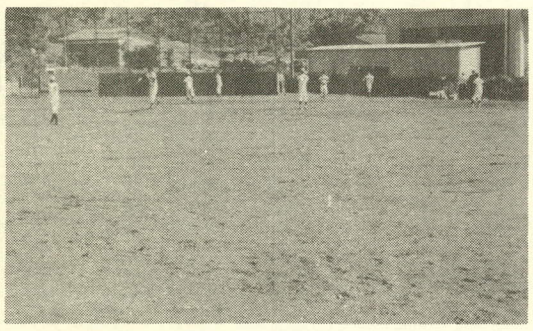
町民運動場も完成、第二十九回茨城国体も近づき、茨城国体の会場として麻生町の近くでは、潮来町で弓道、ボート、鹿島町で弓道、鉾田町で卓球が決まりました。

これを機会にみんなでスポーツを楽しみ、レクレエーションに親しんで健康なくらしをつくりましょう。

体協四十五年度の主な行事は次のとおりです。

◇　◇

七月　体育大会　野球大会
十月　スポーツテスト
　　壮年体力テスト
十一月　町民運動会
　　PTAソフトボール大会
十二月　ママさんバレーボール大会
二月　スキー教室



にぎわう町民運動場

第二回空中防除を

七月中旬に予定

水稲の敵、ウンカ、イモチなどの防除を目的として第2回の空中散布を七月中旬に実施計画をしています。

実施の方法は、第一回（四月）と同じですから前回同様みなさんの協力をお願いします。

第一回の防除費（十アールあたり二百六十二円）をまだ納めていない方は、近くの農協支所へ納入してください。

〔善〕〔意〕

玄通の大盛八郎さんは、麻生小学校へぞうきん一二〇枚を贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

○小牧　大川心衛さんは、大和第一小学校へアマゾン川で採取した蝶の羽根による模様一枚
○井貝　ときわ会は、麻生中学校へ竹ぼうき五一本、小高小学校へぞうきん二三五枚
○田町　根本克久さんは、児童関係の施設へ一、〇八〇円
○小高　宮内正さんは、小高長生会へ二、〇〇〇円
○新原　長生会は、生活困窮者へ九六八円
○島並　植田五郎さんは、麻生中学校へ鶏ふんトラック二台
○行方　前川辰雄さんは、麻生中学校へサルビヤ苗五〇〇本
○繕沢　前川幸成さんは、麻生中学校へ菊栽培用のゴロ土三〇〇はち分
○白浜　井上宥光さんは、白浜成光会へ二、〇〇円
○前谷　老人クラブは、小高小学校へ竹ぼうき五〇本、ぞうきん一六〇枚
○矢幡　長寿会は、麻生第一中学校へぞうきん一〇〇枚

戸籍の窓口

おめでた

永作　美和　鴨下　純子
小沼　香織　山野　洋一
内野　芳典　茂木　政弘
高栖　朋久　松沢　智子
海老沢志保　高須　秀則
坂本　吉昭
おくやみ
宮内　あさ　山野　つや
芝　亀吉　石神　ゑい
箕輪　寛　小林　ひで
柏葉　正市　生井沢正雄

これからの農業めざして

機械操作と先進地への留学

農業の近代化は急速に進んでいます。十年前のことを思いうかべるといまの農業は夢のようです。牛、馬車から耕耘機、トラックへ、自脱、稲刈機、トラクターと機械化はどんどん進んでいます。それにくらべ農家の経営内容はそれほど変わっていません。最近機械化ではぶかれた労力は出稼や近くの工場へいく傾向が目立つてきました。

片手間に農業をやる人、本気になつてかかる人。

今年おこなわれた米の減反政策は二つの道を農家の人にあたえたようです。

本気になつてやる人のためにいろいろな研修の場がもうけられています。

これからの農業は、経営手腕、機械操作と高度な知識技術が要求されます。県では次のような研修を計画していますので希望者は役場経済課へ申込んでください。

農業機械の研修

農業の近代化にともなつて大型機械のはたす役割は多くなり、その導入も急速に進んでいる現在、これに対応した優秀な技術者を養成することを目的として県立農業機械研修所が次のようにおこないます。

◇　◇

(ア)長期研修—大型農業機械および作業機などの運転操作、整備の知識技術を習得するもので期日は次のとおりです。

第一回　(終了)
第二回　八月上旬～八月下旬
第三回　十一月下旬～十二月中旬
第四回　二月上旬～二月下旬

◇　◇

(イ)特殊研修—収穫機械、防除機械、ブルドーザーなどの特殊な知識技術を習得するもので、期日は次のとおりです。

(研修期間は約十日)
第二回　九月上旬
第三回　一月中旬

◇

(ウ)(ア)(イ)の研修を終了した人が、トラクター、けん引車の運転操作技術を習得するもので、期日は次のとおりです。

(研修期間は約五日)
第一回　七月上旬
第二回　九月中旬
第三回　一月中旬
第四回　三月上旬

応募資格　満十八才以上で農業者、農業に関する団体の職員および学生など。
締　切　研修開始三十日前
経　費　受講料は無料、テキスト代等約二千円、宿泊食費代一日約五百円

留学先と農業種別

研修期間3カ月～12カ月
希望者は早めに経済課へ

種　別	留　学　先	人　数
酪　農	栃木、群馬、宮城、北海道、千葉	10
養　鶏	埼玉、愛知	2
養　豚	神奈川	8
そ さ い	栃木、千葉、東京、静岡、埼玉、神奈川	30
花　卉	埼玉、静岡、千葉、東京、神奈川、愛知	30

農村青年を先進地へ留学

農村の青少年を他の地方のすぐれた農家に派遣し、長期間にわたつて滞在させることによつて、その農家の家族と農作業や生活をともにしながら農業の経営、技術や農家の生活などについて体験をとおして習得させ、帰郷後、自家の農業や生活改善にやくだてるとともに、その成果をひろく農村青少年の実践活動をとおして、地域社会にも普及させることを目的としておこなわれます。実施するのは、全国農村青少年教育振興会で、留学前に事前研修会をおこないます。

第二期　九月十五日～
第三期　十一月十五日～
研修期間は三カ月～十二カ月、申込は二カ月前までに。

農業をしている三十五歳未満の人　(中卒以上)
個人負担なし

『測標をだいじに』—天王崎—

建設省では、霞ケ浦の調査を実施することになり、大字麻生天王崎にその基準点を設置しました。

この基準点は、調査をするときに測量船の位置や湖面の高さなどを測定するときの基準目標にするもので大切なものですから、さわらないようにお願いします。

身障者のスポーツ大会

1位5人

第八回茨城県身障者スポーツ大会が五月二十四日、水戸市茨大付属小学校でおこなわれました。

この大会は、身体に障害のある人が、スポーツをとおして体力、精神力をよりつよめるとともにのこされた機能の向上をはかることによつて、明るい生活づくりに役立てることを目的として、茨城県、県社会福祉協議会、日赤茨城支部が主催でおこなつたものです。

麻生町からは、十四人が出場して十三人が入賞という良い成績をおさめました。

出場者は、次のとおりです
〈大和〉柏葉祐　奈良崎正
(立巾跳一位)　飛弾寿　宮内清(立巾跳一位)　野沢くら
(立巾跳一位)　沼里末雄
〈太田〉瀬尾利兵衛(砲丸投一位)　〈小高〉箕輪三郎　渋谷道雄　梅原忠宗　高田秀張　飛弾春雄　〈行方〉小沼清助(走巾跳一位)　箕輪角次

無医部落で＝矢幡・繕沢＝

血圧と尿の検査

潮来保健所では、成人病対策事業の一つとして無医部落を対象に血圧と尿の検査をおこなつていますが、麻生町では太田地区の矢幡と、小高地区の繕沢でおこなうことになりました。

めんどうな手続はなく、希望者は直接会場へ行つてください。検査料は無料、さそいあつてみんなで検査をうけましょう。

◇　◇

＝期日と会場＝
七月二日　太田公民館
七月三日　繕沢児童会館
前十時～后三時

○検診内容
血圧測定、尿検査
○対　象
四十歳～六十四歳の人

恩師の米寿を祝う

四鹿の金田直蔵さん(六十歳)たち十五人は、恩師窪谷和先生(潮来)の米寿祝を、三月六日、大和第二小学校でおこないました。

窪谷先生は、いまから約五十年前に大和第二小学校の校長をつとめておられ、金田さんたちはその時の卒業生ですから祝には和服一式をおくり、東京や他県に住んでいる人もかけつけて再会を喜び、なつかしく昔話をしながら閉会しました。

先生と生徒の断ぜつがよく聞かれる今の世で、五十年すぎてなお思師をおもい集うことは、忙がしくしている私達に、小さなことが、小さな光が大切なことを知らせてくれたような気がします。

米の生産調整

一三三・九%

米の過剰生産をおさえるために、水稲の減反という非常措置がとられ、農家経済の面からみるといろいろ問題はありましたが、最近の米の需給状況や食管制度堅持の趣旨などからやむをえず国の施策にそつて自主調整をお願いしましたところ、麻生町では農家の協力をえて、目標の百九ヘクタールをうわまわる百四十六ヘクタールの減反をすることになりました。

これを転作、休耕の別にみますと、転作六十四・九ヘクタール。休耕七十五・五ヘクタール。土地改良の通年施行一・五ヘクタール。養漁地三ヘクタール。施設の敷地一・一ヘクタールとなります。

このなかで休耕地については、雑草や病害虫の発生する原因になるおそれがありますので、除草剤、農薬などにより他に被害をおよぼさぬよう十分な管理をお願いします。

おじいさんにつれられて

5、22 麻生公民館での予防注射風景

警察官募集

犯罪のない明るい生活を守る警察では、いまあなたの若い力を求めています。

あなたのフレッシュなセンスと豊かな能力を待っています。

◇申込受付
六月十日～八月八日
◇受験資格
昭和四十六年四月一日現在で十八歳以上二十八歳未満の男子(高等学校卒業程度の学力)
◇申込用紙は、各警察署、駐在所にあります。

くらしのメモ

食

塩は調味ばかりでなく、こんなとき役立ちます。①むいたりんごやじゃがいもを塩水につけると色が変わりません。また、青菜をゆでるとき塩をひとつまみ入れると緑がきれいにでます。②塩づけの魚の塩出しをするときよび塩といつて、うすい塩水につけると塩分がよく出ます③暑い時期にたまごを塩や塩水に入れておくと保存がききます。④障子を張りかえるとき、のりの中に塩を少しまぜて使うと、乾いてからちぢみません。⑤布類に血がついたとき、濃い塩水につけてから洗うとよくとれます。

住

高温多湿のこのごろいちばん気になるのは台所やふろ場の臭いですが、やたらに市販の脱臭剤や芳香油をまくのは考えものです。この悪臭は前にまいた芳香剤の油分が残つていて、それが湿気をふくんでにおつてくる場合もありますから、まず風通しをよくしてにえ立つた熱湯でよくすみずみを洗いおとし、乾ききつてから脱臭芳香剤をふりまきましょう。乾かないうちに薬剤をまいてもききめはありません。